

(みよし市) 緑丘小学校 CS・地域学校協働本部

市町村の 基本情報	学校数	小学校 8 校、中学校 4 校		
	地域学校協働活動推進員等の配置状況	統括的な地域学校協働活動推進員	1 人	
		地域学校協働活動推進員	20 人	
		統括コーディネーター	0 人	
		地域コーディネーター	0 人	
CS 及び地域学校協働本部設置状況	CS を導入している学校数	小 2 校	中 4 校	
	地域学校協働本部がカバーしている学校数	小 2 校	中 4 校	



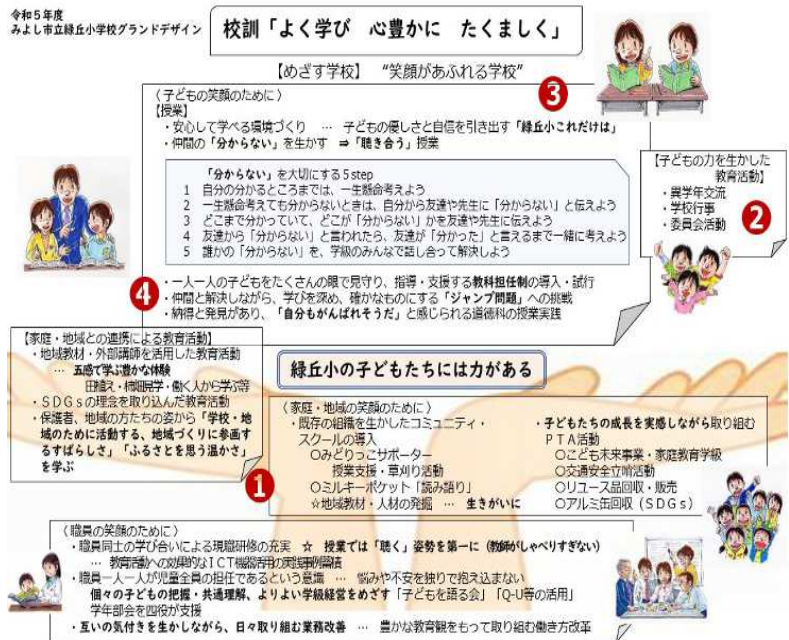
(活動の実際)

<目的>

- 学校と地域が力を合わせて学校運営に取り組み、相互にパートナーとして協働活動を行う。

<活動内容>

- 目指す姿「ランドデザイン」の共有
 - 保護者ボランティア、みどりっこサポーター、地域の方による教育活動支援
(例) 読み聞かせ、授業支援 (家庭図工等) 引率支援 (田植え稲刈り、柿狩り) 出前授業 (合唱合奏、SDGs、稲作) 登下校見守り、環境整備 (除草花壇)
 - P T A、卒業生 O B と連携した周年事業等
- ### <意識していること>
- ランドデザイン、活動方針内容の共有
 - 子供を常に中心に、連携を教育活動に
 - 既存の組織を生かす・職員が笑顔で



※ランドデザインの詳細はホームページ参照

(◎成果と●課題)

- ◎校長の「学校経営方針：ランドデザイン」を、通信等で校区全戸に啓発したり、活動内容をこまめにメール配信したりすることで、学校教育に対する関心と協力体制が、地域に広まりつつある。
- ◎もともとあった連携体制を、コーディネーターを中心に保護者やボランティア団体、行政区とともに見直しを図ることで、できる時にできる人が無理なく活動でき、参加者も充実感を味わうことができつつある。
- 地域とともにある学校として、家庭・地域のより多くの方が参加し、活動の幅を広げていくため、一部のボランティアに負担が偏らず、気軽に誰でも関わりができるような組織づくり。

(関係者の声)

- ・地域の方に助けてもらい、田植えから稲刈り、脱穀、縄をなうなどの学習ができた。昔は手作業だったことに驚いた。農家の方々の苦勞が分かってよかった。今まで以上に、お米を味わって食べたい。(児童)
- ・1年生から6年生、特別支援学級の教科や生活科、総合的な学習の時間の授業に関わってもらうことで、授業にボリューム感が出て、教師だけではできない児童の学び合いが深まった。準備や打合せに少し時間はかかるが、子供が生き生きし、支援者に任せることが増え、働き方も気持ちも楽になった。(教師)
- ・家庭科の調理や図工の彫刻刀の支援で、安全にわかりやすく授業ができたこと児童や先生に喜んでいただけ、参加してよかった。児童の様子もより身近に感じられ、またボランティアに参加したい。(保護者)
- ・地域の子供は宝物で、毎日の触れ合いが楽しい。向こうから挨拶してくれ、やりがいがある。(地域)